

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

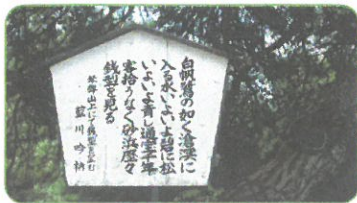
令和六年七月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ⑤〇】

《高橋 藍川（らんせん）》その1

琴弾公園にある銭形砂絵『寛永通宝』が作られたのはいつなのか定かではなく諸説ありますが、形を整える「砂ざらえ」は大正十年（一九二一年）頃から始まりました。百年以上前から風雨にさらされる浜辺の銭形砂絵を大切に守り続けていくことは貴重なことです。琴弾山の山頂に銭形砂絵を漢詩に詠んだ高橋 藍川（らんせん）の詩碑が建っています。



琴弾山上の碑

白帆鷺の如くそうめいに入る
水いよいよ碧に松いよいよ青し

通宝千年客拾うなく
砂浜歴々銭型を見る

（実物は七言絶句で刻まれています）

（意訳）

舟の白い帆が鷺（サギ）のように見える。青々とした水をたたえた海はますます青く、松もまた青く美しい。長い年月、通貨を持って行く者もおらず、おかげで今も砂浜にはつきりと銭型を見ることができ。

（つづく）

◆ 公園清掃日について ◆

今月の清掃日は 7月1日 です。

午前八時～九時（雨天：7月8日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-1962

【琴弾公園クイズ 63】

琴弾公園の横を流れる財田川に架かっている橋のうち三架橋と新琴弾橋の間にある橋は通称、何と呼ばれていたでしょうか？

- ① レンゲ橋
- ② レンジ橋
- ③ レンガ橋

『輝き隊通信バックナンバー』と検索
または下のQRコードからの通信
のバックナンバーを見ることができ
ます。また観音寺市のホームページ
からも輝き隊通信は閲覧できます。



寛談 永

あつという間に一年の半分が過ぎて七月。ふとどこからか銭形音頭のお囃子が聞こえてくると、コロナ禍ではどこかに消えてしまった観音寺の夏を感じてうれしくなります。

「三架橋さえ 想いを掛ける ころろ 染川 恋の川」（三番）

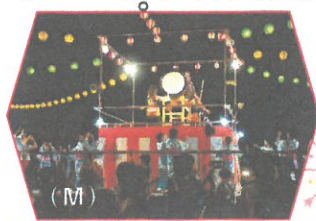
「情け松原 根上り松は どの娘見たさに 背のびする」（四番）

あらまあ、こんな風に色気のある歌詞だったんですね。八番まであるのも、村田英雄氏が歌っているのもびっくりです。

お囃子の笛や鐘の音は日本人の心に沁み

るような気がします。

昔とは違って夜になっても暑い暑い日が多い近年の夏ですが、団扇を片手に今年も見に行きたいと思えます。



◆ いいまちづくり観音寺輝き隊 ◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。